調査票

当事者様用

「障害者・家族の防災意識に関する実態調査」アンケートについて(お願い)

みなさんにおかれましては、毎日のお仕事や生活の場で活躍しておられることと思(おも)います。

今年は、大阪や北海道での大きな地震が発生し、全国各地に相次いでやってきた台風により、たくさんの人が命を落とされ、自分が住んでいた家などをなくされています。

その様子をテレビなどで見て、障害をもつ人たちは「無事に助け出されたの？」「避難所でどんな生活をしているの？」などと心配されたと思います。そして、もし私たちの住む滋賀県でこのような大きな災害が発生した時、「自分(たち)はどうなるの？」と、不安になった人も少なくなかったのではないでしょうか。

２０１１年３月に発生した東北大地震では、障害者をもつ人たちは「無事に助け出されたの？」「避難所でどんな生活をしているの？」また、「避難所を出た後は……？」などといったことがまったくといっていいほどわかりませんでした。そして、この大地震でお亡くなりになった障害のある人たちの数は障害のない人の数と比べて約２倍という悲しい結果をもたらしました。

そのことによって、障害をもつ私たちは大地震などの災害が起こった時、いろいろな理由から避難所へ「安全に」行くことができず、避難所での生活が「安心して」送れないことがわかりました。そして、大地震などの災害が起こった時、県や市町をはじめ、いろいろな人たちから助けてもらう方法の大切さを知りました。

私たちの住む滋賀県も、いつとはいえませんが、南海トラフ地震という大きな地震が起こるといわれています。もし、この大地震が起これば、きっと障害をもつ私たちに悲しく、残念なことが起こることでしょう。しかし残念ながら、県や市にこの大地震が起こった時、私たち障害者とその家族を助ける方法を書いた文書はありません。

私たちは、大地震などの災害が発生した時、みなさんがどのようなことが心配で、周りの人たちにどのように助けてほしいかなどを調べ、その声を県や市町などに届けることで東北大地震の時のような悲しい出来事を少しでも減らせることを願って、みなさんにこのアンケートを書いていただくことをお願いしています。

ぜひとも、ご協力をお願いいたします。

実施団体：滋賀肢体障害者の会「みずのわ」
実施責任者：片山雅崇
連絡先：０９０－２０１５－２９８９
メール：masataka1973@gmail.com

調査方法：郵送　・　聞き取り

「障害者・家族の防災意識に関する実態調査」アンケート

(いずれかに〇をつけてください)

【日常の生活について】

Ｑ１．このアンケートをお答えいただいている方は

ａ．本人　ｂ．父　ｃ．母　ｄ．祖父母　ｅ．きょうだい　ｆ．夫
ｇ．妻　ｈ．子ども　ｉ．その他

Ｑ２．あなたがお住いの市町は

ａ．大津市　ｂ．草津市　ｃ．栗東市　ｄ．守山市　ｅ．野洲市
ｆ．近江八幡市　ｇ．彦根市　ｈ．米原市　ｉ．長浜市　ｊ．高島市
ｋ．東近江市　ｌ．湖南市　ｍ．甲賀市　ｎ．竜王町　ｏ．日野町
ｐ．愛荘町　ｑ．甲良町　ｒ．多賀町　ｓ．その他(　　)

Ｑ３．あなたの性別は　ａ．男　ｂ．女

Ｑ４．あなたの障害は

ａ．脳性マヒ　ｂ．筋ジストロフィー　ｃ．脊髄損傷　ｄ．頸椎損傷
ｅ．ポリオ　ｆ．視覚　ｇ．聴覚　ｈ．知的　ｉ．自閉症　ｊ．統合失調症
ｋ．発達障害　ｌ．その他(　　)

Ｑ５．あなたの年代は

ａ．10～20 歳　ｂ．20～30 歳　ｃ．30～40 歳　ｄ．40～50 歳
ｅ．50～60 歳　ｆ．60～70 歳　ｇ．70 歳以上

Ｑ６．あなたは自家用車(運転免許証)を持っていますか

ａ．持っている　ｂ．持っていない

Ｑ７．あなたはどのようにして移動していますか

ａ．自力歩行　ｂ．杖などをもって歩行　ｃ．手動車いす　ｄ．電動車イス
ｅ．簡易電動車イス　ｆ．その他(　　)

Ｑ８．あなたはどのようにして住んでいますか

ａ．家族と同居　　ｂ．一人暮らし　　ｃ．グループホーム　　ｄ．入所施設

Ｑ９．あなたはだれと住んでいますか(一緒に住んでいる人すべてに○をつけてください)

ａ．父　　ｂ．母　　ｃ．祖父　　ｄ．祖母　　ｅ．きょうだい　　ｆ．夫　　ｇ．妻

ｈ．子ども　　ｉ．その他

Q10. あなたがお住いのところは……

ａ．一戸建て(木造・鉄骨)　　ｂ．マンション(分譲・賃貸　　Ｆ)　ｃ．公営住宅(　　Ｆ)

Q11. あなたの障害程度区分もしくは介護認定区分は

(どちらも受けている方は、両方ともお答えください)

障害程度区分：１　・　２　・　３　・　４　・　５　・　６　　重度包括支援

区分認定を受けていない

介護認定区分：要支援　・　１　・　２　・　３　・　４　・　５

Q12. あなたが利用しているサービスは

(利用しているサービスすべてに○をつけてください)

ａ．作業所　　ｂ．デイサービス　　ｃ．身体介護　　ｄ．家事支援　　ｅ．移動支援

ｆ．通院介護　　ｇ．利用していない

Q13. あなたと隣近所の人と……

ａ．よく話をする　　ｂ．あいさつ程度　　ｃ．誰が住んでいるのかも知らない

【災害発生時について】

Q14. あなたの寝室は何階にありますか　　ａ．１階　　ｂ．２階　　ｃ．３階以上

Q15. 災害発生時、不安に感じていることは

(「不安！」に感じることすべてに○をつけてください)

ａ．ベッドなどから車イスへの乗り移り　　ｂ．自分がいる場所を知らせる方法

ｃ．外へと逃げる方法　　ｄ．助け出してくれる人はいるのか

ｅ．お薬などの持ち出し

(　　)　障害者手帳など、自分が誰かわかってもらうものの持ち出し

その他(　　)

Q16. 災害発生時、あなたを助けてくれると思われる方は
(「助けてくれる！」に思う人すべてに○をつけてください)
ａ．一緒に住んでいる家族　ｂ．近くに住んでいる人
ｃ．近くに住んでいる友だち　ｄ．近くに住んでいる親せき
ｅ．民生委員　ｆ．地域の消防団　ｇ．警察や消防　ｈ．ヘルパー
ｉ．思い当たらない　ｊ．その他(　　)

Q17. 自宅から緊急一時避難所への移動の際に不安に感じていることは
(「不安！」に感じることすべてに○をつけてください)
ａ．つぶれた家などが道路をふさぐことで移動が難しくなること
ｂ．エレベーターが止まることで移動が難しくなること
ｃ．ジャンバーや手袋などを着たり、つけること
ｄ．いつも使っている医療機器や電動車イスなどがしっかりと動くだろうか
ｅ．助け出してくれた人に自分の思いがしっかりと伝わるだろうか
ｆ．一時避難所に行くまでのお手伝い　ｇ．移動による疲れ
ｈ．家族は無事だろうか　ｉ．その他(　　)

Q18. あなたは市町の災害時要援護者登録制度を知っていますか　ａ．はい　ｂ．いいえ

Q19. あなたは上記制度に登録していますか　ａ．登録している　ｂ．登録していない

Q20. 登録していない理由は
ａ．制度を知らない　ｂ．登録方法がわからない　ｃ．登録内容が複雑
ｄ．避難救援者になってくれる人がいない　ｅ．自分のことをあまり知られたくない
ｆ．その他(　　)

Q21. あなたは地域の防災訓練に参加したことはありますか　ａ．ある　ｂ．ない

Q22. 地域の防災訓練に参加したことがない理由は
(思い当たることすべてに○をつけてください)
ａ．開催日時、場所を知らない　ｂ．日程が合わない　ｃ．面倒くさい
ｄ．(開催場所までの)移動が大変　ｆ．意味がない
ｇ．その他(　　)

「災害発生時」に気になることをご自由に

【緊急一時避難所での生活】

Q23. あなたは、災害が発生した時、どこに避難しますか。または避難したいですか

ａ．地域の緊急一時避難所　　ｂ．県外に住む親せきの家

ｃ．県外に住む友人の家　　ｄ．県外にあるホテルなどの宿泊施設

ｅ．自宅(どこにも避難しない)　　ｆ．その他(

Q24. あなたは、地域の緊急一時避難所に指定されている場所を知っていますか

ａ．知っている　　ｂ．知らない

Q25. あなたは、地域の緊急一時避難所へ行ったことがありますか

ａ．ある　→Q26 へ　　ｂ．ない

Q26. あなたが緊急一時避難所で感じたことは何ですか

(「感じた」ことすべてに○をつけてください)

ａ．エレベーターや多目的トイレなどのバリアフリー設備が整っていない

ｃ．場所がせまい　　ｅ．冷暖房設備が整っていない　　ｆ．声が響く

ｇ．建築年数が古い　　ｈ．その他(　　)

Q27. あなたは、災害発生時、地域の緊急一時避難所へ行きますか

ａ．行く　　ｂ．行かない

Q28. あなたが“行かない”理由は

(「これ!!」と思うことすべてに○をつけてください)

ａ．自宅から遠い　　ｂ．自分(たち)にやってほしいことがない

ｃ．他の人と仲よくできない　　ｄ．話し相手がいない

ｅ．自分(たちの)ことが他の人にわかってしまう　　ｆ．家族だけのほうが安心

ｇ．その他(　　)

Q29. あなたが緊急一時避難所での生活の不安は何ですか

(「不安！」に感じることすべてに○をつけてください)

ａ．エレベーター設置や多目的トイレの有無などの避難所内のバリアフリー度

ｂ．日頃から使っているベッドなどが(避難所に)持ち込めるのか

ｃ．支援物資が手元に届くのか　　ｄ．食事やトイレなどのお手伝い

ｅ．他に避難している人と仲よくできるのか

ｆ．ヘルパーなどの福祉サービスが避難所で利用できるのか

ｇ．「おくすり手帳」がなくても薬はもらえるのか
ｉ．電動車イスなどを使うための電気はいつも使えるのか
ｊ．いつも以上にイライラする　　ｋ．障害が重くなること
ｋ．福祉避難所や仮設住宅いつ頃、移れるのか
ｌ．いつも受けている診察や、リハビリは続けられるのか
ｍ．これからの生活はどうなるのか
ｎ．不安はない
ｏ．その他(　　)

Q30. 障害者(とその家族)が安心して避難所生活を送るために必要と考えることは何ですか
(「必要！」と思うことすべて○をつけてください。)
ａ．トイレや出入り口などのバリアフリー設備の整備
ｂ．ベッド等必要なものの持ち込み
ｃ．避難所に食事やトイレなどを手伝ってくれる人がいてくれること
ｄ．救援物資などを手元に届けてくれる人がいてくれること
ｅ．障害の状況にお風呂などの時間を合わせてくれること
ｆ．お医者さんやリハビリの先生が時間を決めてきてくれ相談にのってくれること
ｇ．デイサービスなどの日中に過ごせる場所をつくること
ｈ．悩みを聞いてくれ、心を楽にしてくれる人がきてくれること
ｉ．同じ悩みを持つ人とお話をすること
ｊ．災害が発生する前にしていた仕事はどうなっているのか
ｋ．家族の健康状況
ｌ．他に避難している人たちから自分の障害を理解してもらうこと
ｍ．その他(　　)

「緊急一時避難所での生活」で気になることをご自由に

【災害後の生活】

Q３１．あなたは、仮設住宅に住む際、どのような不安がありますか

(「不安！」に感じることすべてに○をつけてください)

ａ．住宅におけるバリアフリー度　　ｂ．キッチンやお風呂などの使いやすさ

ｃ．近所の人たちと仲よくできるのか

ｄ．近所の人たちが(自分の)障害を理解してくれるのか

ｅ．病院に遠いか、近いか

ｆ．市役所や駅などへ行く方法、遠いか、近いか

ｇ．スーパーなどへ行く方法、遠いか、近いか

ｈ．災害前に住んでいた場所に遠いか、近いか

ｉ．友達や知っている人はいるのか

ｊ．悩みを相談できる人はいるのか

ｋ．不安はない

ｌ．その他(　　)

Q32. あなたが仮設住宅に住んだ後に、どのような不安がありますか

(「不安！」に感じることすべてに○をつけてください)

ａ．災害前の仕事が続けられるのか　　ｂ．年金や手当が受けられるのか

ｃ．災害に遭ったことがわかる書類(罹災証明)がもらえるのか

ｄ．災害前に受けていた医療・リハビリ、福祉サービス(事業所)は続けて受けられるのか

ｅ．近所の人たちと仲よくできるのか　　ｆ．悩みを相談できる人はいるのか

ｋ．不安はない　　ｌ．その他(　　)

Q33. あなたが震災後、安心した生活を送るためにどのような支援が必要と思いますか

(「必要！」と感じることすべてに○をつけてください)

ａ．“生活できる”仕事の紹介　　ｂ．年金や手当を増やすこと

ｃ．災害前と災前と同じサービスが(できる限り)災害前と同じ事業所で利用できるようにすること

ｄ．障害者向けの公営住宅を建て、増やすこと

ｅ．(病院での)診察やリハビリなどが震災前と同じように受けられること

ｆ．災害での悲しいことなどを聞いて、励ましてくれる人がきてくれること

ｇ．災害で同じ経験をした人たちとの交流

ｈ．災害を思い出すことがないように、滋賀県以外の府県へ引っ越すことのお手伝い

ｉ．災害にあったことを考えての新しいサービス計画をつくること

ｊ．入所施設を新しくつくること　　ｋ．グループホームを新しくつくること

ｌ．ヘルパーなどをたくさんふやすこと　　ｍ．特にない

ｏ．その他(　　)

「災害後の生活」で気になることなどをご自由に

ご協力ありがとうございました。

家族様用

「障害者・家族の防災意識に関する実態調査」アンケートについて(お願い)

時下、ますますのご清栄のこと、お慶び申し上げます。

さて、今年は、大阪や北海道で大規模な地震が発生し、観測史上、最大級の大型台風が次々と襲来し、多くの建物が倒壊し、たくさんの尊い命が奪われ、今もなお多くの人が避難所生活を余儀なくされています。

そのような光景から、障害をもつ人たちとその家族は「無事に助け出されたのか」「避難所でどんな生活をしているのか」などとともに、万一、私たちの住む滋賀県でこのような大きな災害が発生した時、「自分(たち)はどうなるのか」という不安をもたれた方も少なくないと思います。

２０１１年３月に発生した東北大地震では、障害者をもつ人たちとその家族における＜救出状況＞＜避難所での生活＞また＜避難所を出て以降の生活＞がまったくといいほど把握されていなかったために、障害のある人の死亡率は障害のない人の死亡率の約２倍の高さにのぼりました。

それは、障害をもつ人たちとその家族が大地震などの災害発生時に、「安全に」避難することができず、避難所生活をはじめ、その後の生活が「安心して」営めないことを明らかにしました。そして、障害者とその家族を対象とする防災施策の構築、ならびに障害者とその家族における防災意識の向上の喫緊性を私たちに投げかけました。

近い将来、滋賀県では、東北大地震より規模が大きいとされる南海トラフ地震の発生が予測されています。しかし、県や市にこの大地震の発生時における障害者とその家族に対する施策は構築されていません。

以上のことを踏まえて、本調査は、大地震などの災害発生時に＜避難時＞＜避難所での生活＞＜その後の生活＞といった場面で、障害者とその家族がどのような不安を持ち、どのような課題があるのかを明らかにすることで、行政などに障害者とその家族における防災施策のあり方を提言し、東北大地震の悲劇を繰り返さないこと目的に実施しています。

ぜひとも、ご協力をお願い致します。

実施団体：滋賀肢体障害者の会「みずのわ」
実施責任者：片山雅崇
連絡先：０９０－２０１５－２９８９
メール：masataka1973@gmail.com

調査方法：郵送　・　聞き取り

「障害者・家族の防災意識に関する実態調査」アンケート

(いずれかに〇をつけてください)

【日常の生活について】

Ｑ１．このアンケートをお答えいただいている方は(障害をお持ちのご家族との続柄)

ａ．父　ｂ．母　ｃ．祖父母　ｄ．きょうだい　ｅ．夫　ｆ．妻

ｈ．子ども　ｉ．その他

Ｑ２．あなたがお住いの市町は

ａ．大津市　ｂ．草津市　ｃ．栗東市　ｄ．守山市　ｅ．野洲市

ｆ．近江八幡市　ｇ．彦根市　ｈ．米原市　ｉ．長浜市　ｊ．高島市

ｋ．東近江市　ｌ．湖南市　ｍ．甲賀市　ｎ．竜王町　ｏ．日野町

ｐ．愛荘町　ｑ．甲良町　ｒ．多賀町　ｓ．その他(　　)

Ｑ３．障害をお持ちのご家族の性別は　ａ．男　ｂ．女

Ｑ４．ご家族の障害は(複数回答可)

ａ．脳性マヒ　ｂ．筋ジストロフィー　ｃ．脊髄損傷　ｄ．頸椎損傷

ｅ．ポリオ　ｆ．視覚　ｇ．聴覚　ｈ．知的　ｉ．自閉症　ｊ．統合失調症

ｋ．発達障害　ｌ．その他(　　)

Ｑ５．あなたと障害をお持ちのご家族の年代は

障害当事者……　０～10 歳　10～20 歳　20～30 歳　30～40 歳　40～50 歳

50～60 歳　60～70 歳　70 歳以上

あ　な　た……　30 歳以下　30～40 歳　40～50 歳　50～60 歳

60 歳～70 歳　70～80 歳　80 歳以上

Ｑ６．あなたは自家用車(運転免許証)を持っていますか

ａ．持っている　ｂ．持っていない

Ｑ７．障害をお持ちのご家族はどのようにして移動していますか

ａ．自力歩行　　ｂ．杖などをもって歩行　　ｃ．手動車いす　　ｄ．電動車イス

ｅ．簡易電動車イス　　ｆ．その他(　　)

Ｑ８．障害をお持ちのご家族はどのようにして住んでいますか

ａ．家族と同居　　ｂ．一人暮らし　　ｃ．グループホーム　　ｄ．入所施設

ｅ．その他

Ｑ９．障害をお持ちのご家族はだれとすんでいますか(複数回答可)

ａ．父　　ｂ．母　　ｃ．祖父　　ｄ．祖母　　ｅ．きょうだい　　ｆ．夫　　ｇ．妻

ｆ．子ども　　ｇ．その他

Ｑ10．障害をお持ちのご家族の住居は

ａ．一戸建て(木造・鉄骨)　　ｂ．マンション(分譲・賃貸　　Ｆ)　ｃ．公営住宅(　　Ｆ)

Ｑ11．障害をお持ちのご家族の障害程度区分もしくは介護認定区分は

(どちらも受けている方は、両方ともお答えください)

障害程度区分：１　・　２　・　３　・　４　・　５　・　６　　重度包括支援区分認定を受けていない

介護認定区分：要支援　・　１　・　２　・　３　・　４　・　５

Ｑ12．障害をお持ちのご家族が利用しているサービスは(複数回答可)

ａ．作業所　　ｂ．デイサービス　　ｃ．身体介護　　ｄ．家事支援　　ｅ．移動支援

ｆ．通院介護　ｇ．利用していない

Ｑ13．あなたと隣近所の人と……

ａ．よく話をする　　ｂ．あいさつ程度　　ｃ．誰が住んでいるのかも知らない

【災害発生時について】

Ｑ14．障害をお持ちのご家族の寝室は何階にありますか

１階　・　２階　・　３階以上

Ｑ15．災害発生時、不安に感じていることは(複数回答可)

ａ．ベッド等から車イスへの移乗　　ｂ．自分の存在を知らせる方法

ｃ．屋外への脱出　　ｄ．救助してくれる人の有無　　ｅ．常備薬等の持ち出し
ｆ．障害者手帳等の自分を証明できるものの持ち出し　　ｇ．特にない
ｈ．その他(　　)

Q16. 災害発生時、障害をお持ちのご家族を救助してくれると思われる方は(複数回答可)
ａ．同居する家族　　ｂ．近隣住民　　ｃ．近隣に住む親類　　ｄ．近隣に住む友人
ｅ．民生委員　　ｆ．地域の消防団　　ｇ．警察や消防　　ｈ．ヘルパー
ｉ．思い当たらない　　ｈ．その他(　　)

Q17. 自宅から緊急一時避難所への移動の際に不安に感じていることは(複数回答可)
ａ．家屋などの倒壊などの道路遮断による移動の困難
ｂ．エレベーター停止による移動の困難　　ｃ．防寒具などの着衣
ｄ．日頃から使用している医療機器や電動車イスなどの稼働の有無
ｅ．救助者とのコミュニケーション　　ｆ．移動時の介助　　ｇ．移動による疲労
ｈ．家族の安否　　ｉ．特にない　　ｊ．その他(　　)

Q18. あなたは市町の災害時要援護者登録制度をご存知ですか
ａ．知っている　　ｂ．知らない

Q19. あなたは上記制度に登録していますか
ａ．登録している　　ｂ．登録していない

Q20. 登録していない理由は
ａ．制度を知らない　　ｂ．登録方法がわからない　　ｃ．登録内容が複雑
ｄ．地域の避難救援者になってくれる人がいない
ｅ．プライバシーをあまり知られたくない
ｆ．その他(　　)

Q21. 障害をお持ちのご家族は地域の防災訓練に参加したことはありますか
ａ．ある　　ｂ．ない

Q22. 地域の防災訓練に参加したことがない理由は(複数回答可)
ａ．開催日時、場所を知らない　　ｂ．日程が合わない　　ｃ．面倒くさい
ｄ．(開催場所までの)移動が大変　　ｅ．周囲の目が気になる
ｆ．意味がない　　ｇ．その他(　　)

「災害発生時」に気になること等をお書きください

【緊急一時避難所での生活】

Q23. 災害発生時、あなたと障害をお持ちのご家族はどこに避難しますか。または避難したいですか

ａ．地域の緊急一時避難所　　ｂ．県外に住む親せきの家

ｃ．県外に住む友人の家　　ｄ．県外にあるホテルなどの宿泊施設

ｅ．自宅(どこにも避難しない)　　ｆ．その他(　　)

Q24. あなたは、地域の緊急一時避難所に指定されている場所をご存知ですか

ａ．知っている　　ｂ．知らない

Q25. あなたは、地域の緊急一時避難所へ行ったことがありますか

ａ．ある　　ｂ．ない

Q26. あなたが緊急一時避難所で「不安」に感じたことは何ですか(複数回答可)

ａ．エレベーターや多目的トイレなどのバリアフリー設備が整っていない

ｃ．場所がせまい　　ｄ．冷暖房設備が整っていない　　ｅ．声が響く

ｆ．建築年数が古い　　ｇ．特にない

ｈ．その他(　　)

Q27. あなたが緊急一時避難所での生活の不安は何ですか(複数回答可)

ａ．避難所内のバリアフリー度　　ｂ．ベッド等の持ち込みの是非

ｃ．支援物資が手元に届くのか　　ｄ．食事やトイレなどの介助

ｅ．他避難者との人間関係　　ｆ．福祉サービスが避難所で利用できるのか

ｇ．常備薬の調達(「おくすり手帳」がなくても薬はもらえるのか)

ｈ．電動車イス・医療機器などの使用のための電源確保

ｉ．極度な精神的ストレス　　ｊ．障害の再発、悪化

ｋ．福祉避難所、仮設住宅への移動時期　　ｌ．定期的受診、リハビリの継続

ｍ．その後の生活設計　　ｎ．特にない　　ｏ．その他(　　)

Q29. あなたは、災害発生時、地域の緊急一時避難所へ行きますか

ａ．行く　　ｂ．行かない

Q30. あなたが緊急一時避難所へ“行かない”理由は

ａ．自宅から遠い　　ｂ．自分(たち)のニーズと合わない

ｃ．他避難者とのトラブルが怖い　　ｄ．悩みなどを共有できる人がいない

ｅ．プライバシーが守られない　　ｆ．家族だけのほうが安心

ｇ．その他(　　)

Q31. あなたと障害をお持ちのご家族が安心して避難所生活を送るために必要と考えることは何ですか(複数回答可)

ａ．トイレや出入り口などのバリアフリー設備の整備

ｂ．ベッド等必要なものの持ち込み

ｃ．食事介助をはじめとしたヘルパー的な役割を担う人の配置

ｄ．救援物資などを手元に届けてくれる人の配置

ｅ．障害の状況などに考慮した入浴時間などの配慮

ｆ．医師やリハビリスタッフなどの定期巡回と相談体制

ｇ．デイサービスなどの日中支援体制の確立

ｈ．精神的苦痛を和らげるカウンセラーの配置　　ｉ．同じ悩みを持つ人との交流

ｊ．仮設住宅の建設状況をはじめとする情報の提供

ｋ．災害発生以前に関わっていた仕事の状況　　ｌ．家族の健康状況

ｍ．他避難者における障害に対する理解　　ｎ．不安はない

ｏ．その他(　　)

「緊急一時避難所での生活」で気になることをご自由に

【災害後の生活】

Q32. あなたは、仮設住宅へ入居する際、どのような不安がありますか(複数回答可)

ａ．住宅におけるバリアフリー度　　ｂ．キッチンや風呂等の家財設備の使いやすさ

ｃ．近隣住民との人間関係　　ｄ．近隣住民の障害に対する理解

ｅ．近隣に必要とする医療機関の有無

ｆ．市役所や駅などの公共機関へのアクセス　　ｇ．商業施設へのアクセス

ｈ．“住み慣れた”地域との距離　　ｉ．友人・知人の有無

ｊ．悩みが相談できる人の有無　　ｋ．特にない

ｌ．その他(　　)

Q33. あなたが仮設住宅入居後に、どのような不安がありますか(複数回答可)

ａ． 震災前の仕事の継続　　ｂ．年金や手当などの受給

ｃ．預貯金などの引き出しを可能とする罹災証明の発行

ｄ．震災前からの医療・リハビリ、福祉サービス(事業所)の継続

ｅ．近隣住民との人間関係　　ｆ．悩みを相談できる人の有無

ｇ．特にない　　ｈ．その他(　　)

Q34. あなたが震災後、安心した生活を営むためにどのような支援が必要と思いますか(複数回答可)

ａ．生計が維持できる仕事の斡旋　　ｂ．従来からの年金等に加算する経済的援助の創設

ｃ．災害前と同じサービスが(可能な限り)震災前と同じ事業所で利用できる体制の整備

ｄ．障害者向けの公営住宅の建設および増設

ｅ．震災前と同様のケア、投薬が受けられる医療、リハビリ体制の整備

ｆ．震災で受けた心理的トラウマの緩和を図るカウンセラーの巡回

ｇ．同じ経験をもつ人たちとの交流

ｈ．震災経験を思い起こさせない他府県への転居の援助

ｉ．被災・罹災生活を考慮した新たな個別支援計画の作成

ｊ．入所施設の新設　　ｋ．グループホームの新設

ｌ．ヘルパーなどの大幅増員　　ｍ．不安はない

ｏ．その他(　　)

「災害後の生活」で気になることなどをご自由に

ご協力ありがとうございました。